

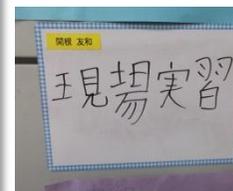
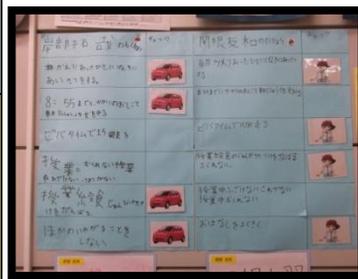
1 ポイント（特に工夫した項目に○ いくつでも）

作成者：栗崎大・伊藤陽子 (中学部)

教材教具の工夫	
1 実態に合っているか？	○
2 ねらいが明確か？	○
3 興味関心を生かしているか？	○
4 シンプルで誰でも再現可能か？	○
5 一目で動作をイメージできるか？	○
6 児童生徒も教師も使いやすいか？	○
7 実際の生活や他の場面で生かせるか？	○

2 生徒の実態（個人）

- ・男子生徒2名の学級で、ルールを守らなくてはいけないことは理解しているが、生活を送るうえで忘れてしまうことがある。
- ・視覚的な物があれば、自分で見て確認したり、理解して行動に移すことができる。



3 教材教具のねらい

- ・自分自身で、何をすべきであるかを確認することができる。
- ・目標達成に向けて、活動することができる。
- ・自分自身で一日を振り返り目標を達成できたか確認することができる。

4 改善の経緯

(1) 4月頃の使用例や児童生徒の様子

- ・ルールを守ることができた時にシールを貼るため、ルールを守ろうとする意識が高まった。
- ・中学部最高学年を意識するようになったが、自分がどのくらいできるのか、課題はどのような事なのかを自分自身で考えることが難しかった。
- ・今日頑張りたいことを毎日朝の会で決めていたが、放課後には忘れてしまっていることが多かった。

(2) 12月現在の使用例や児童生徒の様子

- ・徐々にシールを貼るシートを大きくしゴールまでの道のりを長くしたことで、早くゴールしたいという意識が高まり、ルールを守ろうとする意欲が高まった。
- ・ステップアップシート（段階表）を活用し、一緒に確認したことで大人になるための目標が明確になり、意識しながら生活できるようになった。

改善のポイント！！

- ・自分自身でできることと課題を確認できるようにする。
- ・毎日の目標を自分でチェックすることができるようにする。

今後の改善や使用について

- ・適宜ステップアップシートを確認し、それぞれの目標を一緒に考える。
- ・毎日の目標を具体的に考えられるようにする。